

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 豪雪災害緊急対策資金の創設と適切な資金対応

J A 名 JAバンク群馬（群馬県）

1 動機 （経緯）	平成 26 年 2 月 14 日から 15 日にかけての大雪により群馬県内では歴史的な降雪量を記録し、ビニールハウス等の農業用施設に甚大な被害が発生しました。
2 概要	復旧にかかる初期活動として、多くの J A 関係職員が、他県の J A 職員と合同で、倒壊したハウスの撤去にかかるボランティアに参加しました。 資金面での対応としては、県内 J A からの要望を踏まえ、県行政・他県連合会との調整を重ね、群馬県と J A グループ群馬が利子補給を行い、生産者の金利負担がゼロとなる『豪雪災害緊急対策資金』を創設しました。
3 成果 （効果）	同資金の取り扱い実績は、26 年度末時点で 984 件・68 億円となっており、最終的には 100 億円を超える取り扱いが見込まれています。
4 今後の予定 （課題）	県が主催する園芸用ハウス復旧加速化 P T 会議への参画等により、引き続き、県行政や他県連合会と緊密に連携し、豪雪災害からの早期復興に向けてサポートしていきます。

【被災直後のハウス】



【ボランティア活動の様子】



【ハウス撤去後】



【再建後のハウス】

